



今年も残りわずかとなりました。みなさんにとってどんな一年でしたか？心に残る本との出会いはありましたか？お気に入りの本に出会ったら、誰かに紹介してみましょ。友だちや先生、おうちの人、はなれて暮らす誰かに…それは、言葉のプレゼントになります。あなたが選んだすてきな一冊で、たくさんの人が笑顔になれるように。



12月のおすすめ



クリスマスの本

『クリスマスをめぐる7つのふしぎ』

※ サンタクロースの「そり」を引いてる動物は何？ ※

トナカイだよ。19世紀に、アメリカの神学者ムーアが子どものために書いた詩にでてくるトナカイが、サンタクロースをのせてそりを引くトナカイの始まりといわれているんだ。

『ものしりチャンピオン 1000問 冬250の“なぜ”』くもん出版より

さいとうひろし (作) 斉藤洋 (作) 森田みちよ (絵) 理論社

サンタクロースはパパ？サンタクロースはひとりなの？クリスマス・イブの夜、家に来てきたおまわりさんが、そんなふしぎに答えてくれました。

『サン・サン・サンタ ひみつきち』 かこさとし (作・絵) 白泉社

たったいち日で全世界にプレゼントを届けるサンタクロース。じつは、北極の氷の下にはプレゼントを作る大きな工場があったのです。そこで、たくさんの人々がおもちゃを作っているのです…。

『サンタさんはどうやってえんとつをおりるの？』

マック・バーネット (作) ジョン・クラッセン (絵) いちだいづみ (訳) 徳間書店

サンタさんは体が大きいのに、どうやってえんとつをおりるの？ベルトをぎゅっとしめるの？それとも、ねずみくらい小さくなるの？それとも、ぴょんとのびて、足から中に入るの？…さてどうなのかな？

えほん まな エスディーゼズ 絵本で学ぼう! SDGs

14 海の豊かさを守る



SDGsの目標14 海の豊かさを守ろう

ポイ捨てされたビニール袋などのプラスチック製品は川から海へと流れつき、海の生きものが食べ物とまちがえて食べてしまうことがあります。まずは、ゴミはゴミ箱に捨て、ペットボトルなどはリサイクルに出しましょう。

『ヤマネコとアザラシちょうさだん』 五十嵐美和子 (作・絵) PHP研究所

アザラシがリュックをしょってたおれています。そこへ、おじさんがとおりかかりました。つれてかえると、アザラシの口からビニールぶくろが出てきました。食べ物とまちがえてしまったようです…。

◆ 本でコミュニケーション ◆

☆ おすすめの本 ☆ (山口さんのおすすめ)

『あらしのよるに』 きむらゆういち (作) あべ弘士 (絵) 講談社

ある嵐の夜に、真っ暗な小屋の中で出会ったオオカミとヤギがお互いの正体も知らずに友達になりました…。シリーズで続き、いろいろなできごとがおこります。二ひきの友情のゆくえを見守るのが、楽しみです。ぜひ、読んでみてください。



ふゆやす かしだし 冬休みの貸出

12月16日(月)

から

19日(木)

一人3冊まで

返却

1月10日(金)まで